



# より安全に安心して乗るために 自転車のマーク

知っておきたい  
身の回りのマークのいろいろ

自転車といえば近年、健康づくりや温暖化防止の視点からも注目度が高まり、毎日乗る人もたくさんいるはず。ただ、心配なのは思わぬ交通事故。そこで今回は、自転車をより安全に安心して乗るために役立つマークを紹介します。



BAAマーク。現在、メーカー名などの不明な自転車が多数出回っていますが、BAAマークの付いた自転車ではフレームなどの見やすい場所に製造事業者または輸入事業者の名前などを表示することが条件になっており、マークの記番号を自転車協会に問い合わせれば、製造事業者がわかります。

重光 純 Shigemitsu Jun

ライター・エディター。省庁発行の広報誌の編集に長年携わる。

## BAAマーク

昨年1年間に全国で起きた自転車事故は、約144,000件。交通事故全体のおよそ2割が自転車に関係しています。10年前に比べて全体数は減少したものの、自転車と歩行者の衝突事故については約1.6倍（約3,600件）に増加。自転車側が加害者となるケースが少なくありません。




こうした事故を防ぐためにも、交通ルールを守ることはもちろん、より安全性の高い自転車を選んで購入したいもの。そんなとき目安になるのが、一般社団法人自転車協会の「自転車安全基準」に適合していることを表すBAAマークです（図1）。この安全基準は、JIS（日本工業規格）をベースに、独自に厳しい基準値を設けたり、JISにない要件を加えるなど、より安全水準を高めたものとなっています。対象となるのは「ママチャリ」と呼ばれる軽快車や子ども用自転車、電動アシスト自転車など。製造物賠

償責任保険（PL保険）\*への加入をマーク使用の条件としているため、自転車の製造上の欠陥が原因で事故が起きた場合は、メーカーや輸入業者の責任で補償されます。

この制度が始まったのは2004年。その後、2008年からはマークの地色をそれまでの青から緑に変え、人体に有害な鉛や水銀、カドミウムなど6つの物質について使用基準を設け環境にも配慮しています。

さらに2009年には「幼児2人同乗用自転車安全基準」（この基準に適合した自転車には、BAAマークの下に「幼児2人同乗基準適合車」と表示）や、スポーツ用を対象としたSBAA（スポーツBAA）マーク、オーダーメイドなど自転車を組み立てる作業を伴う自転車販売業者を対象としたSBAA PLUSマークが定められました（一定の条件を満たし講習試験に合格した販売者が組み立て整備したSBAA PLUSのマークのある自転車には、1年間、上限金額30万円の自転車

図1

	BAAマーク	SBAAマーク	SBAA PLUSマーク
一般社団法人 自転車協会 ☎ 03-3583-0545	 <p>BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED (自転車協会認証) の略。一般社団法人自転車協会による「自転車安全基準」に適合していることを表す</p>	 <p>「スポーツ用自転車安全基準」に適合していることを表す</p>	 <p>一定の技量を持つ販売者（SBAA PLUSの資格を付与される）が販売した自転車であることを表す</p>



総合保険が付けられます)。

2012年10月1日現在、国内企業36社がBAAマークを使用。昨年1年間に国内で販売された自転車約1000万台のうち、約240万台にこのマークが貼ってあります。

### TSマーク

もう1つ着目したいのが、公益財団法人日本交通管理技術協会による**TSマーク**です(図2)。これは普通自転車を対象にしたもので、協会の審査に合格した自転車安全整備店に所属する自転車安全整備士によって、年に1回の整備・点検を受けたときに貼ってもらえます。傷害保険と賠償責任保険が1年間付いています。補償内容の違いによって青と赤の2種類のマークがあり、例えば賠償責任保険の場合、死亡・重度後遺障害に対して支払われる限度額は、青のマーク(第一種)で1000万円、赤のマーク(第二種)で2000万円となっています。TSマークの保険は、マークが貼ってある普通自転車に付帯しているため、自転車の持ち主に限らず、家族や友人などが乗っていて起こした事故にも適用されます。加害者が未成年者の場合には、親権者が請求者となり保険の適用を申請できます。

この制度は、警察庁の指導により1979年からスタート。2011年度のマークの交付枚数は約197万枚で、335件の事故保険申請が受理されました。

全国には約15,000件の自転車安全整備店があり、協会の検定に合格した約68,000人の自転車安全整備士がいます。自転車を買った店でも、自転車安全整備店で整備・点検を受ければ、その日付の記載されたTSマークを貼っ

てもらえます。なお、付帯する保険の有効期限は、マークに記載された日付から1年間となっています。毎年、定期的に整備・点検を受けて保険を更新していくことで、安全と安心が保たれます。

### SGマーク

自転車に限らず、消費者の生命または身体に対し危害を及ぼすおそれのある製品について、必要な安全性品質を定めた基準(SG基準)に適合していることを表す認証印として普及しているのが、一般財団法人製品安全協会による**SGマーク**です(図3)。1973年施行の「消費生活用製品安全法」に基づいて同協会が発足し、この制度も始まりました。SGマークが対象としている製品は2012年9月末現在118品目。自転車については①自転車 ②自転車用・電動車いす等用 および、走行遊具用のヘルメット ③自転車用幼児座席 ④自転車用空気ポンプ の4品目です。

また、このマークには1億円を限度とする対人賠償保険が付いていて、万一、SG製品の欠陥により人身事故が起きた場合には、被害者対応、事故原因調査なども含めて、製品安全協会が対応するしくみとなっています。


消費者が安全性の高い自転車を積極的に選んでいくことにより、メーカーや販売業者の安全に向けた取り組みも促進されます。ただし、マークが付いているからといって油断は禁物。交通ルールを守り、自転車で出かける前にはライトやブレーキなどの安全チェックも忘れずに！

\* 第三者に引き渡した物や製品、業務の結果に起因して賠償責任を負担した場合の損害を、身体障害または財物損壊が生じることを条件としてカバーする賠償責任保険。BAAマークの場合、メーカー各社が保険会社と契約するため、保険内容はそれぞれ異なる。

**図2** TSマーク (第二種)

公益財団法人 日本交通管理 技術協会 ☎ 03-3260-3621	 Traffic (交通) と Safety (安全) の頭文字。認定された自転車安全整備店で自転車安全整備士により点検、整備を受けたことを表す
--	---

**図3** SGマーク

一般財団法人 製品安全協会 ☎ 03-5808-3300	 Safe Goods (安全な製品) の頭文字。製品安全協会が定めたSG基準に適合した製品であることを表す
------------------------------------	---